

# 令和4年度活動計画について

## ① はじめに

『革新・深化～町を元気にするために～』

スサノオの風は、法人設立の原点、「文化」「スポーツ」の振興を図りながら、人口減少が加速する佐田地域の活性化のために地域振興に一層の力を注ぎ、佐田地域民から信頼をより高め、活動の深化を図って行きたいと考えます。

### ★基本方針★



地域貢献する存在感のある法人を目指す

### ★自主企画事業

施設名	考え方	実施予定
スサノオホール	<p>◎コロナ禍でも感染症対策を充実し、ホールの利用促進を図る。</p> <p>◎普段でも来訪者の増員を目指す。</p> <p>◎施設・設備管理に留意する</p>	<p>★cotaba 毎月1回開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ミニステージ</li> <li>・コタバスの運行</li> <li>・さだブース</li> </ul> <p>★出雲から戦争と平和を考える(展示+朗読会+上映会)</p> <p>★謎解きゲーム</p> <p>★わらべうたステージ</p> <p>★アウトドアシアター</p> <p>★ごっこいまつり</p> <p>★文化庁アートキャラバン事業(半崎美子)</p> <p>★しまね映画祭への参加</p> <p>★文化協会事業への支援(民謡、神楽、歌舞伎)</p> <p>★その他</p>
スポーツセンター	<p>◎体育館利用者1万人を目指す 特に佐田町在住者</p> <p>◎施設・設備管理に留意する</p>	<p>★100円で遊ぶDAY 毎月第1土曜日100円/人で利用可能</p> <p>★スローエアロビック(随時)</p> <p>★ゆるスポ教室(随時)</p> <p>★夏休みこども集いの場</p> <p>★その他</p>

## ② 各部門の事業方針

### 【本部関係】

- ・理事・社員が協働し、法人の使命を深化させるべく担当理事を置くなど、福利厚生事業(1日研修)の充実も図っていきます。
- ・助成制度の活用や寄附金など財源確保に努力するとともに、効果的な支出に努めます。
- ・「風のたより」の発行や、ホームページやフェイスブックなどの情報発信に積極的に取り組みます。また、佐田町内の情報を掲載するサイト「サダイズム」の充実を目指します。
- ・会計、労務管理、PC管理等については専門職へ相談・指導を受けながら対応していきます。
- ・佐田町文化協会、出雲市体育協会佐田支部の事務局を引き続き担当します。
- ・出雲市レンタサイクル事業の委託業務を担当します。
- ・「朝日たたら」の管理を継続して行います。
- ・出雲市第1号通所事業(さだ予防教室)の委託業務を担当します。

#### 【スサノオホール・佐田スポーツセンター・文化練習館】

- ・スサノオホール、佐田スポーツセンターは、法定耐用年数 40 年を経過し、施設の大規模修繕が必要となります。存続に向け、利用者の増加、多機能化を図り、佐田地域でより必要度の高い施設へと傾注していきます。
- ・令和 4 年度以降も指定管理が受託されるよう日々の管理運営に留意するとともに、社員体制の整備を図っていきます。
- ・ホールでは、空調設備の老朽化により公演時に支障を来すなど、数多くの問題が表出しています。また、洋式トイレへの改修など利用者の立場にたった施設改善を今年度も強く要望していきます。
- ・自主事業の企画運営には佐田地域内外の若者にも参画していただきます。
- ・休館日は基本的に社員を配置しない完全休館日とします。(ホール 月曜日、スポセン・文化練習館 毎月第 4 水曜日)

#### 【障がい者福祉事業】

- ・障がい者就労継続支援施設「やまびこ園」は、利用者の減少が顕著になっています。存続の問題に直面する恐れもあるため、利用者の確保に努めていきます。また、安定した経営を存続させるためにも、工賃の向上に向け取り組んでいきます。
- ・相談支援事業については、今後も積極的に実施していきます。

#### 【中山間地域振興事業】

- ・佐田地域の課題解決に向け、佐田自治協会の「佐田地域戦略会議」及び「小さな拠点・雇用創出部会」の事務局を担当し、「さだ未来ビジョン」の推進に協力します。また、佐田地域づくり協議会の事務局として、佐田自治協会・各関係機関と連携し、農村 RMO 形成推進事業に取り組んでいきます。
- ・「島根大学 佐田サテライトラボラトリー」(通称 さだらボ)と協働し、コミュニティ活動の充実を図ります。

#### 【経済活動の活性化を図る事業】

- ・さだのちいさなマーケット「cotaba」の拡充を行います。
- ・「AR スタンプラリーさだモン」の開発を通して佐田の魅力アップを図ります。
- ・第 3 種旅行業は、昨年に引き続き公演に合わせた独自の企画など打ち出していきます。
- ・八幡原通所施設跡「結」を活用し、交流と学びの場を創出します。

#### 【その他事業の展開】

- ・佐田がんばる塾や、さだ暮らしサポート事業(さだサポ)の継続・拡充
- ・他団体との連携による事業の発展・開発

③ 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲および人数	支出額(千円)
①文化、芸術、福祉の向上に関する事業の普及と宣伝	<p>「文化団体活動支援」</p> <p>佐田町文化協会の事務局を担っていく。</p>	通年	スサノオホール	2名	380人	150
②文化、芸術、福祉の向上に関する事業の企画及び実施	<p>「出雲から戦争と平和を考える～沖縄復帰50年と出雲の戦争遺跡～」</p> <p>終戦後77年。沖縄復帰50年の節目でもあり、あらためて平和について考える。沖縄編：パネル展の実施にあわせ、朗読会や映画「ひめゆり」の上映会を開催する。出雲編：写真展「失われた大社基地」</p>	R4.6.17～ R4.9.4	スサノオホール	5名	500人	350
	<p>「SADA OUTDOOR THEATER～星空の下の社会的距離～」</p> <p>スサノオホール屋上から巨大スクリーン(660×370cm)を設置、ホール壁面に映画を投影させ、参加者にはアウトドアチェアや寝袋など、各自お好みの鑑賞用グッズを持ち寄ってもらい、野外にて映画を楽しんでもらう。</p>	R4.10.29	スサノオホール	10名	99人	100
	<p>「謎解きゲーム～佐田にひそむナゾを追え～」</p> <p>スサノオホール全館を使用した、出雲・佐田にまつわる謎解きゲームを開催する。</p>	R4.12.11	スサノオホール	10名	40人	168
	<p>「寺尾紗穂ライブ～いづものわらべうた～」</p> <p>音楽家、寺尾紗穂を招聘し出雲に伝わる「わらべうた」を再発掘し演奏します。日本各地のわらべうたや子守唄も演奏する。</p>	R5.3.19	スサノオホール	10名	40人	400
	<p>文化庁アートキャラバン事業「JAPAN LIVEYELL project」</p> <p>島根県民会館から事業を受託し、スサノオホールなどでプロのアーティストによる公演を行う。制作は、出雲のらやと協働して行い、より多くの集客に務める。</p>	R4.8.11	スサノオホール他	8名	300人	3,000
	<p>「タイルクラフト教室」</p> <p>スサノオごととこいまつりに併せ、親子のふれあいの場を創出するためにタイルクラフト教室を実施する。</p>	R4.11.3	スサノオホール	2名	50人	10
	<p>「市民のアート展」</p> <p>出雲市民の写真、絵画、陶芸作品等を定期的に展示をしていく。</p>	通年	スサノオホール	2名	300人	3
③文化芸術活動での各種講演会等への講師派遣	今年度は実施しない。					
④社会教育、まちづくり及び子どもの健全育成等を目的とした事業への援助及び協力	<p>「佐田地区青少年育成協議会事業への協力」</p> <p>佐田地区青少年育成協議会が実施する活動に協力する。</p>	通年	佐田地区内	1名	200人	0
⑤スポーツの推進を目的とした事業の企画及び実施	<p>「出雲市体育協会佐田支部の活動支援」</p> <p>出雲市体育協会佐田支部の事務局を担っていく。</p>	通年	佐田地区内	2名	3,000人	100
	<p>「100円で遊ぶDAY」</p> <p>佐田スポーツセンターの利用促進のために、毎月第1土曜日の午前9時から午後5時までの間、1人100円で開放し、軽スポーツ等を楽しんでもらう。</p>	通年	佐田スポーツセンター	2名	150人	30
⑥スポーツの振興を目的とした各種講習会等への講師派遣	今年度は実施しない。					
⑦障害福祉サービス事業	<p>「就労継続支援施設 やまびこ園の運営」</p> <p>精神・知的・身体障がい者を対象とした就労継続支援施設「やまびこ園」の運営を実施する。また農福連携を強化する。</p>	通年	やまびこ園	5名	10人	15,774
⑧相談支援事業	<p>「障がい者相談支援事業」</p> <p>障がい者の生活支援、福祉サービス利用等の相談業務を実施する。また、出雲市の委託を受け、障がい程度区分認定調査業務を実施する。</p>	通年	佐田町内	2名	50人	2,947

⑨高齢者の介護予防、生活支援に関する事業の企画及び実施	「さだ予防教室」 出雲市からの委託で高齢者の引きこもり防止等を目的に、毎週火曜日介護予防教室を開催する。	通年	潮の井ふれあいセンター	5名	20人	1,638
⑩健康づくり及び介護予防を目的とした各種の研修会等への講師派遣	今年度は実施しない。					
⑪スサノオホール、佐田スポーツセンター等公立施設の管理運営業務の受託	「指定管理業務の受託」 スサノオホール、佐田スポーツセンターの指定管理業務を実施する。	通年	スサノオホール・佐田スポーツセンター・文化練習館	11名	15,000人	30,567
⑫佐田地域の集落・団体支援及び研修事業等の企画及び実施	「農村RMO事業」「佐田地域戦略会議」「小さな拠点・雇用創出部会」事務局支援 佐田自治協会の佐田地域戦略会議及び専門部会（小さな拠点・雇用創出）の事務局を担う。また、各関係機関と連携を図りながら、農村RMOの推進に注力する。	通年	スサノオホールほか	5名	3,000人	4,330
	「島根大学 佐田サテライトラボラトリー支援」 島根大学を主として佐田地域の地域課題を共に研究する。また、さだラボフォーラムの開催に際し協力する。	通年	スサノオホールほか	5名	3,000人	0
	「さだ暮らしサポート事業」「佐田がんばる塾」の継続 佐田町内の困りごと解決や、仲間づくりの支援としてさだサポ事業や佐田がんばる塾の継続・拡充に努める。	通年	佐田町内	5名	3,000人	50
⑭ツーリズムの企画立案と実施事業	「佐田魅力発見ツアー」 佐田の魅力を町内外から体感してもらうツアーを企画する。	通年	佐田町内外	2名	100人	30
	「ARスタンプラリーさだモン」 佐田町内30か所に潜む“さだモン”を見つけ出し、出題されるクイズに答えスタンプを集めると景品がもらえる周遊型ARスタンプラリー。さだモンを考えるワークショップや、ツアーを開催する。	R4.6.5～ R4.10.30	佐田町内外	2名	100人	250
⑮地域関連グッズ等の商品開発及び販売事業	「さだのちいさなマーケットcotaba」 佐田町内外のショップを招き、月に1回マーケットを開催する。	通年	スサノオホールほか	5名	2,000人	120
⑯その他この法人の目的を達成するために必要な事業	広報活動 季刊広報誌「風のたより」の発行やホームページ・SNSを積極的に運用する。	通年	佐田町内外	4名	3,000人	50

## (2)その他の事業

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲および人数	支出額(千円)
イベント各種のチケット販売	他地域で実施されるイベントチケットを窓口で販売する。	通年	スサノオホール	5名	30人	10